

キュウリ支柱の簡易ハウスによるクレソン産地の育成

渡邊 啓三 (75歳 農業)

【取組内容】

- ・キュウリ支柱を利用した簡易ハウスで、クレソンを栽培する。キュウリ支柱による簡易ハウスは、設置経費が安い簡易ハウスとして注目されている技術で、方々に普及しつつある。
- ・江釣子の豊富な湧き水を活かし、江釣子にクレソン産地を育成する。
- ・既に江釣子で盛んに栽培されているセリと組みあわせて栽培する。



ハウスでの栽培によって露地栽培より収穫期間が長い



経営上有利になる

セリと組み合わせることで周年収穫の作型になる

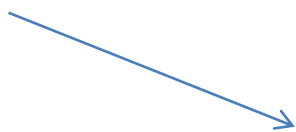


年間通して収入を得ることができる

設備導入費が安価であるうえに、高齢者や女性でも容易に設置可能である



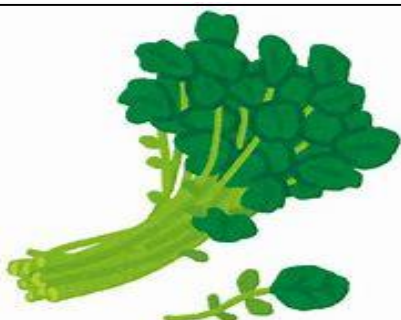
導入による経費と労力の負担が少ないため取り組みやすい



キュウリ支柱の簡易ハウスでクレソンを栽培することにより、兼業農家の収益向上につながる。

【事業詳細】

- 4月 キュウリ支柱で簡易ハウスを作る
- 5月 クレソンを移植し防虫網を張る
- 9月 ビニール被覆して秋から冬に収穫し販売する



冬春期の換金作物栽培推進

渡邊 啓三 (75歳 農業)

【取組内容】

- ・ 冬から春の農閑期の労働力を活用する換金作物として、タラの芽、ゼンマイ、ワラビを栽培する。
- ・ 未利用地を使って栽培することで有効活用する。

冬から春の農閑期の労働力を活用する
↓
年間通した収入の確保することができる

タラの芽、ゼンマイ、ワラビの順で芽が出てくるため収穫作業の労働競合がない
↓
兼業農家でも無理のないスケジュールで取り組みやすい

生産物が比較的軽量なため、収穫時は女性や高齢者でも作業が可能である
↓
身体的負担が少ないため誰でも取り組みやすい

農閑期の労働力を活用し、山菜類を栽培することで、業農家の収益向上につながる。

【事業詳細】

- ・ 11月頃にタラの芽の定植用の根を購入する。
- ・ ゼンマイは翌年の春に育苗用の胞子を採取する。
- ・ ワラビは11月頃に定植用の根を掘る。
- ・ 育苗後収穫までタラの芽とワラビは3年、ゼンマイは5年かかるが、定植後は、ほとんど薬剤防除などはなく、肥培管理が簡単である。



休耕田に自生する植物でアレンジメントキット販売

小原 葉子 (41歳 パート)

【取組内容】

- ・ 休耕田に自生する植物を材料にウィグアム（植物の支柱）とリースのアレンジメントキットを販売する。
- ・ 春から秋に草刈り作業時に材料を収穫し、冬に作成しネットで販売する。
- ・ 作り方ガイドを作成し同封する。
- ・ ホームページをjimdo（ホームページ作成サービス）で立ち上げ、販売する。

草刈り作業のときに自生する植物を材料として収穫する

↓
初期費用の削減かつ草刈りも進むため費用対効果が高い

材料は春から秋に調達し、冬に作成する

↓
兼業農家でも無理のないスケジュールのため取り組みやすい

材料をもとに笹の葉を取る作業や梱包などを行う

↓
簡単な作業なため、誰でも作成できる

休耕田に自生する植物のアレンジメントキットを販売することで、兼業農家の収益向上につながる。

ウィグアム

笹、蔓の葉を落とす

やすりかけ

裁断

販売



リース

蔓を洗浄

裁断

松ぼっくりをフロリストワイヤーで固定

販売



北上のものを東京で売ろう！

平野 千雪 (19歳 大学生)

【取組内容】

- ・ 企画提案者が通う東京農業大学の収穫祭や学生生協の購買で北上のものを販売する。
- ・ 東京農業大学の学生から商品開発の案を募り、コラボ商品を販売する。
- ・ その後も関東近郊で有志を募り、定期的に東京で販売活動を行う。



東京農業大学の収穫祭は例年12万人（HPより）が訪れるため多くの人に周知できる



北上市の認知向上とブランド化につながる

東京農業大学の学生から案を募り、コラボ商品を開発、販売をする

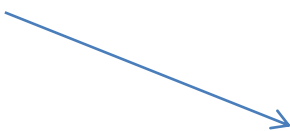


付加価値をつけて販売することができる

収穫祭後も関東近郊で有志を募り、定期的に販売活動を行う



販路の拡大とリピーターの獲得につながる



東京農業大学の収穫祭や学生生協で販売することにより、兼業農家の収益向上につながる。



勝手に仕送り便（米・野菜のサブスクリプション）

平野 伸（27歳 飲食店）

【取組内容】

- ・米や野菜を詰め合わせたお任せセットを一回3000円（送料込み）で販売する。
- ・購入者は家族や知人に仕送りすることができる。
- ・規格外品の野菜もセットの中に入れていい。
- ・セットに入れる中身や発送のタイミングは農家側が自由に決めることができる。
- ・契約方法は、年間契約や回数契約など購入者と農家で相談して決める。

米や野菜を離れた場所に
住む知り合いや家族に送る

↓
販路の拡大につながる

生産者が発送のタイミン
グを決めることができる

↓
忙しくないときに準備が
できるため、兼業農家
でも取り組みやすい

生産者がセットの内容を
決める

↓
予定より多く収穫され
たものを入れるなど在庫
を調整することができる

農産物のセットを仕送りとして送るサービスを行うことで、
兼業農家の収益向上につながる

購入者

農家

配送先

発送準備の手
間が省ける

送る中身に悩
まずに済む

代金

お任せセット

